

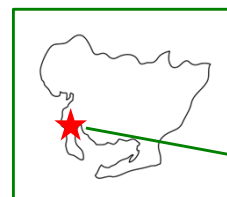
株式会社ビオクラシックス半田（愛知県半田市）

R3補正
R4当初

27

背景・課題

株式会社ビオクラシックス半田が運営する「バイオぐるファクトリーHANDA」は、「半田市バイオマス産業都市構想（平成28年7月策定）」に位置づけられた地域バイオマス資源（畜産廃棄物、食品廃棄物）を原料とするメタン発酵バイオガス発電施設である。メタン発酵過程で発生する消化液を「バイオ液肥」として利用し農作物を生産することで、『地域循環ループ』の構築と、化学肥料からバイオ液肥への置き換えによる減肥と生産コスト削減を目指している。



半田市

構成員

株式会社ビオクラシックス半田

品目

成果目標

目標年度・内容：令和8年度、普及活動によるバイオ液肥利用量1,300m³/年（散布面積65ha）

取組の内容

バイオ液肥（脱水・乾燥肥料）の農業利用の実用化に向けた調査・検討・普及活動

- ・栽培実証：バイオ液肥の有効性（化成肥料の代替）を検証
- ・実用化検証：運搬方法・散布方法を検証、追加が必要な養分を調査
- ・普及活動：HP・見学会開催・広報活動・サンプル提供等で各自治体や農家にPR、公共施設にバイオ液肥無料配布用のサービスタンク設置の検討など



「バイオぐるファクトリーHANDA」

- ・令和元～3年度食料産業・6次産業化交付金を活用し施設整備。
- ・令和3年度補正みどりの食料システム戦略緊急対策交付金を活用しレジリエンス強化のための成果拡大施設整備中。
- ・発電能力：800kW（200kW×4台）
- ・発電量：6,460MWh/年
- ・電気利用：自己利用及びFIT売電
- ・処理量：畜産廃棄物、食品廃棄物等100t/日
- ・副産物：[熱]17,722GJ/年、[CO₂]22,630Nm³/年

調達

地域バイオマス（畜産廃棄物、食品廃棄物）の活用

生産

化学肥料の使用量及び農作物栽培コストの低減

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月



食品廃棄物等の受入れホッパー



牛ふん（固液分離後の液体）の受入れ



液肥運搬車両で水田に施肥



自作の液肥散布機

普及に向けた取組

事業による実証結果を踏まえ、生産者にバイオ液肥の効果や利用方法を普及する資料等を作成、配布するとともに、生産者の所有する機械やほ場条件等に即した運搬・散布方法を提案する。

問い合わせ先

株式会社ビオクラシックス半田 《 問い合わせフォーム 》 bioguru@biokurasix.jp